

令和 5年度
岡山県におけるカワウねぐら利用
状況調査報告書 (冬季調査)



<カワウ羽づくろい>

日本野鳥の会岡山県支部

令和 6年 2月

岡山県における冬季のカワウのねぐら利用個体数調査報告

1. 目的

近年、個体数・分布域が増加・拡大し、農林水産業等に被害を与えているカワウについて、生息状況を把握し、今後の鳥獣被害防止対策の適正な推進のための基礎資料とする。

2. 調査の内容

県内の冬季カワウのねぐらを観察し、カワウの生息状況について調査した。

3. 調査の方法

(1) 調査回数及び調査時期

年1回（冬季）カワウの生息状況のモニタリングのため、ねぐらにおける個体数調査をカワウがねぐらとしている場所を特定しておいて12月中旬から1月上旬の間に行った。

(2) 調査場所

県内のコロニー及びねぐら

(3) 調査事項

カワウの個体数等

① コロニー及びねぐら入りしている個体数

② コロニー及びねぐらへ帰還してくる個体数及び飛来方向

なお、ねぐらへ帰還してくる日没前後の時間帯において個体数及び飛来方向等を調査しその記録を記した調査記録用紙は別紙「令和5年度 岡山県における冬季のカワウねぐら利用状況調査報告書 資料編」に示す。

4. 調査結果

本年度県内で冬季に生息するカワウの羽数は、5,992羽であった。

その内、吉井川水系で1,068羽、旭川水系で1,723羽、高梁川水系で1,540羽、そして海上部諸島と海岸域での湖沼で1,661羽の生息分布であった。

確認できたカワウのねぐら確認場所とカウント羽数を表-1に示す。

カワウのコロニー・ねぐら調査箇所は、41か所行い、その中で利用していた箇所は、28か所であった。利用されていない箇所は、繁殖期のコロニーとして利用していた場所と忌避テープが張られた場所が主であった。

表一 令和 5年度 冬期ねぐらにおけるカワウ生息数調査

No.	河川名	ねぐら場所	調査日	本年個体数	備考	昨年個体数
1-1	吉井川	岡山市東区川口 中州 観音院対岸	12月24日	491		422
1-2	"	岡山市東区百枝月 豆田対岸	12月17日	312		417
1-3	"	赤磐市熊山勢力 山陽道橋下流	12月10日	82		58
1-4	"	和気町佐伯塩田 備作大橋下流	12月14日	42	周匝より移動か？	0
1-5	"	和気町佐伯塩田 周匝橋下流	12月14日	0	竹林枯れている	71
1-6	"	津山市瓜生原 押淵上バス停対岸	12月13日	0	忌避テープが残	0
1-7	"	津山市日上	12月13日	0	忌避テープが残	0
1-8	"	津山市宮尾 新錦橋上流	12月13日	62	忌避テープが残	0
1-9	"	鏡野町 奥津湖 苫田大橋下流	12月13日	20		8
1-10	琵琶首川	奈義町御所野 神五郎池	12月11日	5		0
1-11	吉野川	美作市青野 尾谷橋下流	12月11日	52		1
1-12	吉野川	美作市英田巨勢 位田橋下流	12月11日	0		—
1-13	肘川	勝央町福吉 切池	12月12日	2		6
1-14	滝川	勝央町勝間田 荒神谷池	12月12日	0		8
		吉井川 水系 小計		1068		991
2-1	百間川	岡山市中区沖元 百間川中洲	12月13日	264		594
2-2	旭川	岡山市中区中原 三野公園前	12月22日	1166		1334
2-3	"	岡山市北区御津矢原	12月9日	96		33
2-4	"	岡山市北区建部町吉田 中吉橋上流	12月9日	66		40
2-5	"	岡山市北区建部町鶴田 浮桙上	12月13日	53		51
2-6	"	美咲町栃原 旭川ダム湖 浮桙上	12月13日	0		0
2-7	砂川	岡山市東区瀬戸町笹岡 砂川	12月13日	36		16
2-8	二井用水	赤磐市桜ヶ丘西 二井大池	12月12日	42		67
		旭川 水系 小計		1723		2135
3-1	汐入川	倉敷市水島川崎通り 汐入川遊水池	12月20日	663		737
3-2	高梁川	倉敷市酒津 清音古地の対岸 八幡山裾	12月10日	337		167
3-3	"	倉敷市真備町川辺	12月10日	0		196
3-4	"	総社市福谷	12月12日	79		138
3-5	"	高梁市玉川町玉	12月20日	178		94
3-6	成羽川	高梁市備中町布賀黒鳥(黒鳥ダム下流)	12月18日	38		82
3-7	成羽川	高梁市備中町平川二又瀬	12月14日	0		0
3-8	成羽川	高梁市備中町平川 新成羽川ダム湖	12月16日	0		0
3-9	領家川	高梁市川上町領家 領家橋	12月12日	0		0
3-10	西川	新見市哲多町宮河内 河本ダム	12月10日	79		82
3-11	小田川	井原市木之子町 小田川	12月24日	0		0
3-12	星田川	井原市美星町星田 星田池	12月14日	0		5
3-13	稲木川	井原市木之子町 蛭田池	12月23日	166		151
		高梁川 水系 小計		1540		1652
4-1	片上湾	備前市 片上湾 前島	12月20日	0		193
4-2	牛窓町	瀬戸内市牛窓町鹿忍	12月17日	397		348
4-3	児島湾	岡山市南区宮浦 高島	12月19日	657		524
4-4	児島湾	岡山市東区豊田 鳩島	12月18日	88		116
4-5	水島灘	倉敷市児島通生 葛島	12月8日	476		319
4-6	深山公園	玉野市田井 深山公園 中池	12月23日	43		32
		海岸域および河川以外の場所 小計		1661		1532
		調査か所41か所中28か所のねぐらでのカワウ生息数 総計		5992		6310

各河川水系における出現割合を図-1に示す

図-1 令和5年度 各河川水系における出現割合図

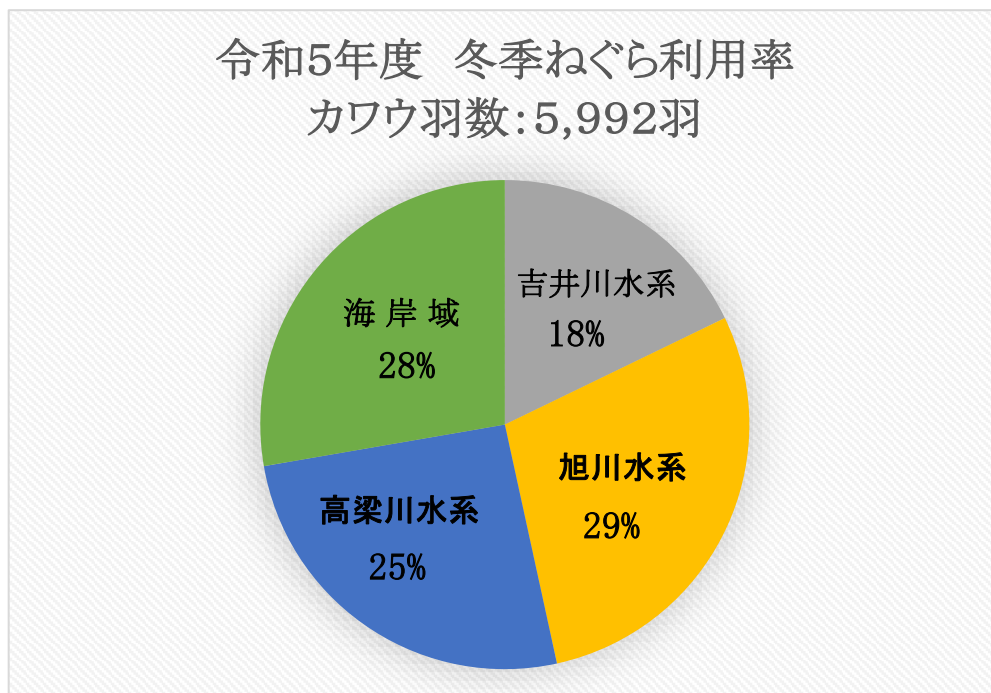
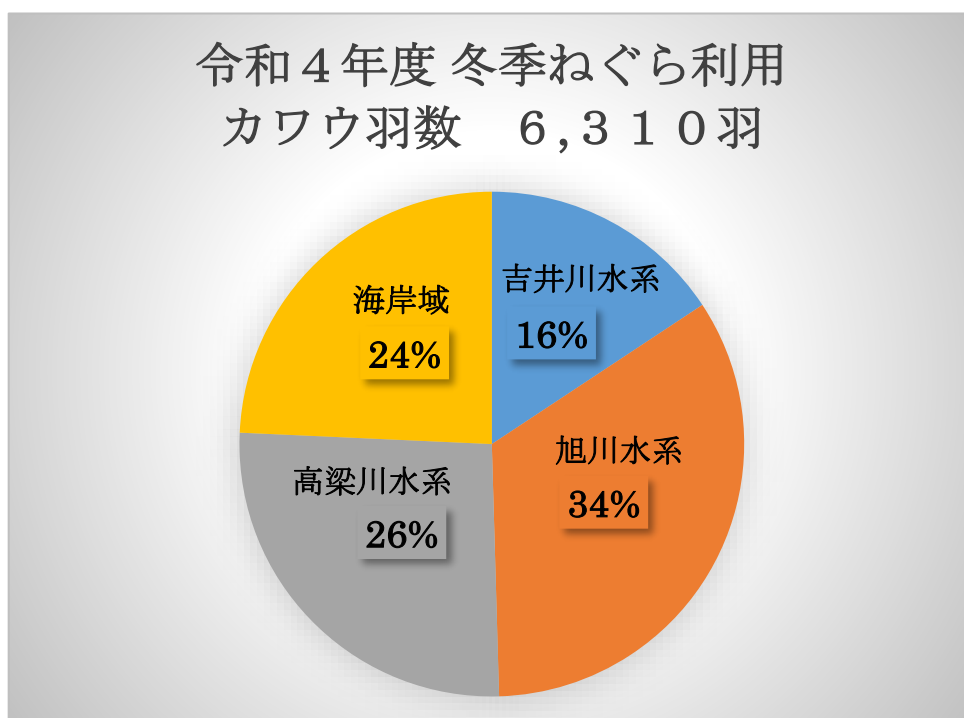


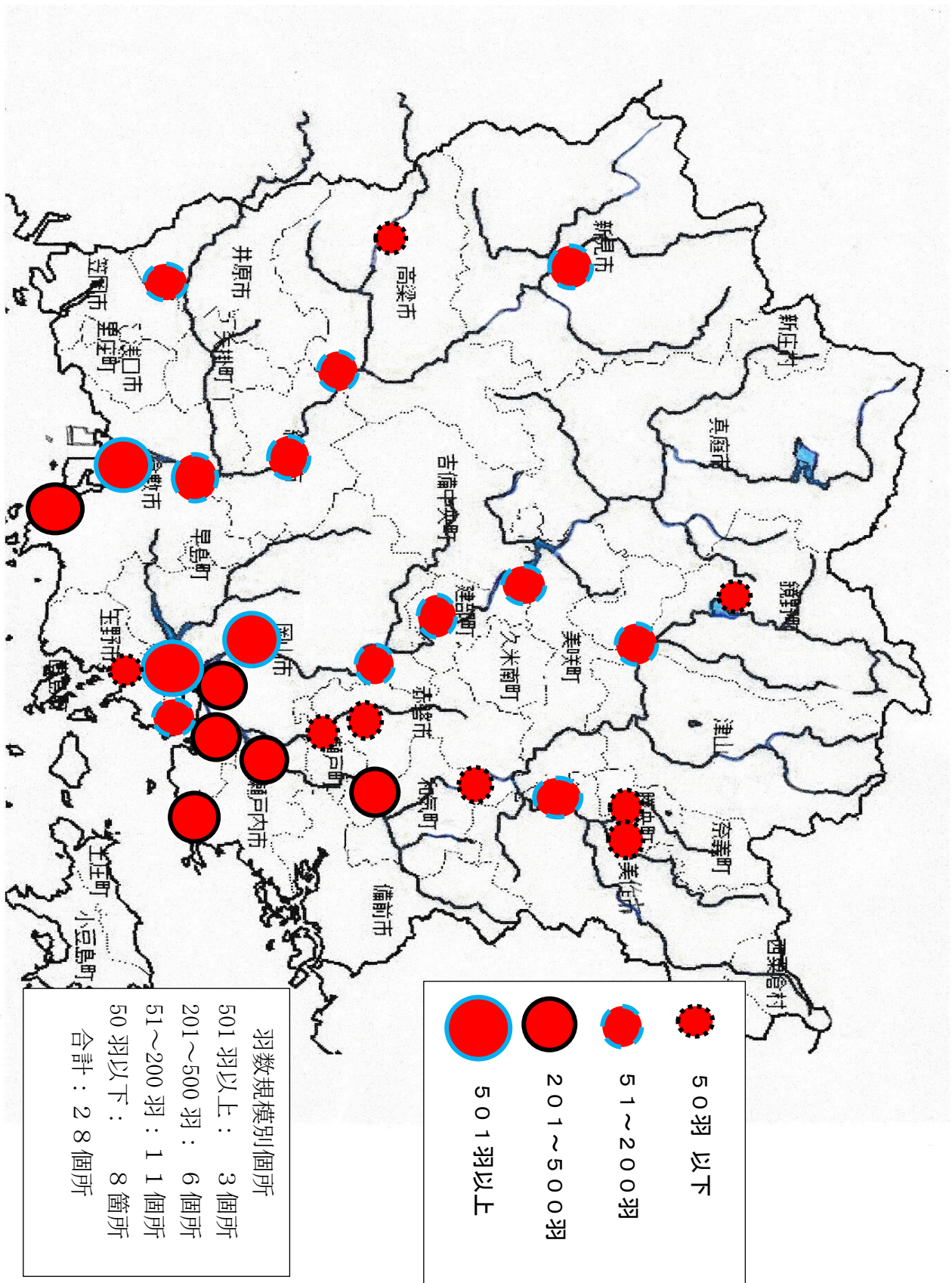
図-2 令和4年度 各河川水系における出現割合図



昨年度と比較して318羽の減少であった。吉井川水系、海岸域の割合がやや増加しているが、旭川水系で412羽の減少と高梁川水系で112羽の減少している。

ねぐらが確認された場所を図 - 3 に示す。

図 - 3 カワウの冬季ねぐらが確認された場所図



5. まとめ

令和5年度、冬期における岡山県内に生息するカワウの個体数を夕刻に「ねぐら入り」する羽数をカウントした調査結果は、総数5,992羽であった。

今年度、春の繁殖期にコロニー等でカウントした羽数は、2,533羽であったから、この繁殖期の羽数と比較すると冬期には、3,459羽増加している。

また、昨年の冬期羽数は、6,310羽であったから今期は318羽少なかった。

比較して大きな増減は無く、高止まりの羽数で安定しているようであるが、最大羽数を数えた令和元年の7,053羽からは徐々に減少し1,061羽の減少をみている。

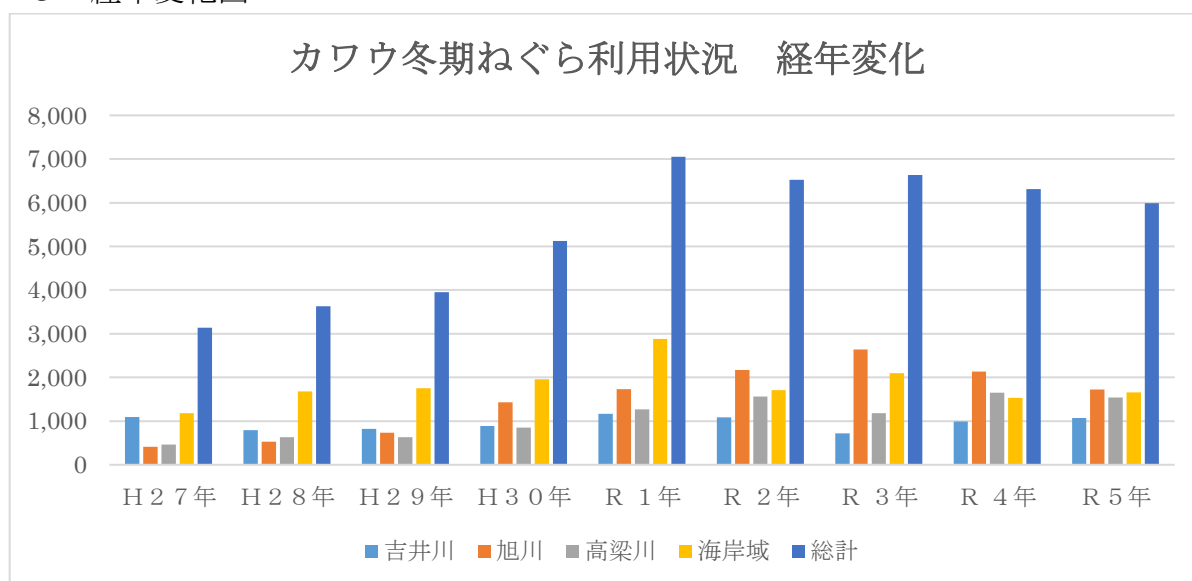
ただ、吉井川上流部においては忌避テープが設置されていて昨年は羽数が減少していたが忌避テープの効果が薄れて増え始めている所がある。

今年度確認された冬期羽数を以前の調査結果との比較を 表-2 に示す。

表-2

年度	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
羽数	3,140	3,629	3,949	5,125	7,053	6,525	6,631	6,310	5,992

図-3 経年変化図



各水系においては、旭川、高梁川で若干の減少が見られ、吉井川と海岸域で若干増加している。これは個々のねぐらでの変動に大きく左右されている。

旭川では三野公園前のねぐらの樹木減少により羽数が減少している。海岸域では片上湾でねぐらが消滅している。逆に吉井川では津山市宮尾でのねぐらが復活している。高梁川で川辺のねぐらが河川工事により消滅している。

(完)